

Press release

2019 年 7 月

テクテキスタイル／テックスプロセス 2019: 盛況のうちに閉幕

海外見本市チーム
Tel. 03-3262-8444
Fax 03-3262-8442
E-mail. info@overseas-fairs.com
東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F
www.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/
www.messefrankfurt.com
www.techtexsil.messefrankfurt.com
www.texprocess.messefrankfurt.com

産業用繊維と不織布の国際専門見本市「テクテキスタイル」と、縫製機器および関連加工技術の国際専門見本市「テックスプロセス」が、ドイツ・フランクフルト国際見本市会場にて、2019 年 5 月 14 日(火)ー17 日(金)に開催され、盛況のうちに閉幕しました。両見本市において、テキスタイルおよびアパレル業界が最先端の製品や技術を紹介しました。出展者数は過去最高を記録し、来場国数も過去最多となりました。

テクテキスタイル／テックスプロセスの両見本市は、4 日間の会期中、アパレル、ファッションウェア、布張りの家具やレザー製品などのメーカーを含む、幅広い業界のテクニカルテキスタイルユーザーへ、国際的なビジネスプラットフォームを提供しました。

開催結果	出展者数	出展国数	来場者数	来場国数
2 見本市合計 ()は 2017 実績	1,818 社 (1,789)	59 カ国・地域 (66)	47,000 名 (47,388)	116 カ国・地域 (114)
Texprocess ()は 2017 実績	317 社 (312)	34 カ国・地域 (35)	26,400 名	96 カ国・地域
Techtexsil ()は 2017 実績	1,501 社 (1,477)	57 カ国・地域 (55)	42,500 名	105 カ国・地域

テクテキスタイル –最も国際色豊かに開催

テクテキスタイルは今回、来場者の約 63%(2017 年は 61%)をドイツ国外から迎え、これまで以上に国際色豊かな見本市となりました。来場国トップ 5 は、ドイツに続いてイタリア、フランス、トルコ、オランダ、スペインとなっています。出展者は 421 社がドイツからの出展、1,080 社がドイツ国外からとなり、ドイツ国外の出展者は全体の 72%に達しました。出展国別では、ドイツ(421 社)を筆頭に、イタリア(134 社)、中国(113 社)、フランス(103 社)、スイス(63 社)、イギリス(62 社)が上位 5 カ国に名を連ねました。新たに出展のあった国、もしくは出展の中断を経て復活した国は、ブラジル、スリランカ、ネパール、アラブ首長国連邦(UAE)、モロッコ、チュニジアでした。さらに、14 カ国がパビリオン出展も実施しました。出展者の業界景況は決して芳しくないなか、出展者の満足度は、ターゲットとする来場者層を獲得できたか否かという点で、前回から 1%ポイント上昇し 89%を記録しました。

性能、機能性、スマートテキスタイルも豊富に

テクテキスタイルでは、機能性アパレル向けのファブリック、またスポーツウェアやファッションウェア、アウトドア用衣類、ワークウェアに使用される、照明や温熱、センサー機能を備えたスマートテキスタイルのサプライヤー向けの展示が多く見られました。会

場では、これらの製品を展示した Schoeller、Freudenberg、RUDOLF、Lenzing といった企業が、多くの有名衣料品メーカーのデザイナーやプロダクトマネージャー、バイヤーを惹きつけていました。Schoeller Textil AG のプロテクションテキスタイル部門長で、経営陣の 1 人である Hendrikus van Es 氏は、「弊社のブースには、Alpha Tauri や Mammut、North Face、Tommy Hilfiger など数多くの有名ブランドをはじめ、具体的にターゲットを定めて訪れる方が大勢いました」と話しました。また、ファスナーで国際市場をリードする YKK をはじめとする、アクセサリーやパーツの企業も多数出展していました。「米国、パキスタン、アジア、そしてコロンビアまで、世界中から来場者がありました。今回の見本市には非常に満足しています」と、YKK でセールスマネージャーを務める Jan Cees van Baaren 氏は語っています。

業界に活気をもたらすテックスプロセス

テックスプロセスは、ドイツ国外からの出展者数が 212 社、ドイツ国内の出展者数が 105 社となり、ドイツ国外からの出展が全体の 67%に達しました。今回初めて出展があったのは、フィンランド、デンマーク、ウクライナ、ドミニカ共和国、シンガポールでした。ドイツを除いた国別の出展者数上位 5 カ国は、イタリア、中国、台湾、日本およびトルコです。中国と日本、および台湾はパビリオン出展も実施しました。テックスプロセスの来場者数増加は主に、日本、オランダ、スイス、フランスからの来場者が増えたことによるものでした。国別来場者数は、ドイツに続いてイタリア、トルコ、フランス、ポルトガル、ルーマニア、ポーランドが上位を占めています。

「主に現在の国際的な貿易障壁から、縫製やアパレル技術、テクニカルテキスタイルやレザーの加工処理機器のメーカーからは、顧客が投資をためらうとの声が聞かれていましたが、テックスプロセスは、出展者に非常にポジティブな空気を生み出しました」と、ドイツ機械工業連盟 縫製・皮革機械協会 (VDMA) にて専務理事を務める Elgar Straub 氏は述べています。

テックスプロセスでは、マイクロファクトリーという形で完全にネットワーク化した製造ラインや自己学習するマシンから、デザイナー、製品開発者、メーカー、およびリテラー間の国境を越えたクラウドベースのコラボレーションまで、業界向けのデジタルソリューションも溢れていました。「デジタル化と相互リンクした業界ネットワークが勢いを増し、現在、小売店にまで到達しています。Impact 4.0 として私たちがまとめた Industry 4.0 の直接効果です」と Straub 氏は語っています。H. Stoll AG & Co. KG のテクニカルテキスタイル製品マネージャー Alexander Behm 氏も同様に認め、「そう遠くない将来、物事はますますその方向に進み、ソフトウェアサプライヤーと機械メーカーのパートナーシップが別の次元での協業に向かって、最終的にはプロセスチェーン全体に及ぶと私は考えています」と話しました。今回のテクテキスタイル／テックスプロセスでは、同社のような編み機メーカーが、デジタルテキスタイル・マイクロファクトリーでシューズのアップパー部分の 3D ニッティング技術を紹介しました。

サステナビリティへの注力を高めるテキスタイル業界とテキスタイル加工業者

「テクテキスタイル／テックスプロセスにおけるサステナビリティ」を掲げ、両見本市は今回開催で出展者のサステナビリティに関する課題への取り組み方法に重点を置き、会場では来場者が関連する出展者へ真っ直ぐ向かえるよう専用のガイドブックを配布しました。

次回のテクテキスタイルおよびテックスプロセスは、2021 年 5 月 4 日(火)ー7 日(金)にドイツ・フランクフルト国際見本市会場にて開催されます。見本市や併催イベントの詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。

公式ウェブサイト:

テクテキスタイル <https://techtexsil.messefrankfurt.com>

テックスプロセス <https://texprocess.messefrankfurt.com>

過去のプレスリリースおよび今回開催の画像はこちらよりご覧ください:

<https://techtexsil.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press.html>

<https://texprocess.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press.html>

その他、最新の情報は以下からもご確認いただけます:

www.facebook.com/techtexsil

www.twitter.com/techtexsil

www.linkedin.com/showcase/techtexsil

www.techtexsil-blog.com

www.facebook.com/texprocess

www.twitter.com/texprocess

www.linkedin.com/showcase/texprocess

www.texprocess-blog.com

www.instagram.com/techtexsil_texprocess

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約 7 億 1,800 万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に 30 の拠点をもち、全体で 2,500 人*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、見本市 & イベント、地域性、サービスの 3 つの枠組みで、各地であらゆる産業界を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。

より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com